

2024 年度事業報告書

2024 年 4 月 1 日から 2025 年 3 月 31 日まで

1 事業の実施と成果に関する事業

①演劇に関する事業

①-1)文化庁文化芸術による子供育成推進事業を活用して、筑紫野市 2 校、福岡市 4 校、熊本県南阿蘇村 1 校、大分県竹田市 1 校、佐賀県多久市 1 校(小学校7校と高校2校)の合計 9 校で演劇コミュニケーション授業を行い、子どもたちのコミュニケーション能力と非認知スキルの向上に寄与した。

①-2)ふくおか貢献サポート事業で『ドラマエデュケーションで分かりづらい生きづらさを解消する協議体』を結成、演劇人、医療者、糖尿病を持つ人と、小学校で演劇ワークショップを行い、医療とアートの協働で多様な社会の中で他者理解の礎を築くことに寄与した。(地域の事業と合わせて協議体への公的受け取助成金 50 万円)

事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	事業費の金額(円)
①-1)文化庁文化芸術による子供育成推進事業を活用した、小学校 7 校・高校 2 校合計 9 校での演劇コミュニケーション授業の実施	5月～11月	筑紫野市 2 校、福岡市 4 校、大分県竹田市 1 校、佐賀県多久市 1 校、熊本県南阿蘇村 1 校、	59 人	小学生 493 人 高校生 99 人 合計 592 人	1,618,172
①-2)ふくおか貢献サポート事業で協議体を結成、医療とアートの協働で糖尿病の分かりづらい生きづらさを知る演劇ワークショップの開発・実施	11月18日	うきは市吉井小学校	12 人	4 年生 32 人	0 (協議体へ公的受取助成金 25 万円)

②地域に居場所を作る事業

②-1)大分県竹田市の(公財)竹田市文化振興財団 総合文化ホールグランツたけたと共催で『親子であそぼう！えんげきワークショップ』を開催し、3 歳から 12 歳までの子どもとその保護者を対象に、親子のコミュニケーションをより良くすることを目的で行った。

②-2)(公財)筑紫野市文化振興財団 筑紫野市文化会館と共催で『身体表現ワークショップ』を開催し、中学生以上の地域住民を対象に自分の気持ちや考えを表現し、より円滑にコミュニケーションできる自信を育むことを目的に開催した。文化振興財団との共催で、演劇ワークショップの魅力の発信と地域コミュニティの活性化に寄与した。

②-3)放課後等デイサービスつむぎからの依頼で、利用者と職員を対象に連続 3 日間の演劇ワークショップを行い、コミュニケーションに課題を持つ子どもたちのコミュニケーション能力の向上に寄与した。

②-4)演劇に関する事業でもあげているふくおか貢献サポート事業で、『ドラマエデュケーションで分かりづらい生きづらさを解消する協議体』にて、演劇人、医療者、糖尿病を持つ人と、地域住民対象に演劇ワークショップを行い他者理解の礎を築くことに寄与した。

②-5)自主財源では、NPO 法人 PAVLIC の講師に依頼して「コミュニケーションワークショップ」「演劇にふれてみる・深めてみる」の 2 回のワークショップを、地域住民を対象に行い中学生から高齢者まで幅広い世代の多文化理解や交流に寄与した。

事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	事業費の金額(円)
②-1) グランツたけたと共催で『親子であそぼう！えんげきワークショップ』の開催	7月	大分県竹田市 グランツたけた	5人	子ども21人 大人14人 合計35人	66,660
②-2) 筑紫野市文化会館と共催で「身体表現ワークショップで楽しむ」を一般市民に開催	2月16日	筑紫野市文化会館	3人	中学生3人 大人12人 合計15人	1,383 (文化会館49,954円)
②-3) 放課後ディサービスに通う利用者と職員に演劇コミュニケーションワークショップを連続3日間実施	9月 3,4,5日	小郡市 放課後ディサービスつむぎ	3人	述べ人数 未就学児と小学生37人 大人8人	50,000
②-4) ふくおか貢献サポート事業で協議体を結成。医療とアートの協働で糖尿病の分かりづらい生きづらさを知る演劇ワークショップを一般市民に実施	11月30日	筑紫野市二日市東コミセン	11人	幼児1人 小学生4人 中学生1人 大人9人 合計15人	4,493 (協議体へ公的受助成金25万円)
②-5) 演劇ワークショップを一般市民に2回開催	9月26日 10月14日	筑紫野市 筑紫南コミセン 二日市東コミセン	5人 4人	中学生1人 大人12人 合計13人 中学生3人 大人13人 合計16人	67,040

③調査・研究及び講演を行う事業

- ③-1) 研究として、演劇を観て語る会を3回企画。『転校生』『桜の園』『幸福な生活』の演劇を観劇した後におしゃべり会を催した。チェーホフ作『桜の園』観劇にあたっては、原作を読み時代背景から作品を理解する試みを行った。
- ③-2) 今年度初めてファシリテーター体験報告会を開催した。学校でのファシリテーター体験をふりかえり、「自分としてはどんなスキルが上がったと感じるか。どんなことができるようになったのか。」を言語化し共有、「子どもが主体とは何か」を話し合った。
- ③-3) 認定NPO法人アカツキからの依頼で令和6年度第2回福岡県内公設NPO・ボランティアセンター等連絡会研修「多様な主体間の協働について」に登壇し、「学校との協働」というテーマで取り組みを紹介した。

事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	事業費の金額(千円)
③-1) 演劇を観て語る会を3回行った。演劇は『転校生』『桜の園』『幸福な生活』	9月～3月	豊岡市、福岡市、佐賀市	2人	正会員 延べ人数 14人	0
③-2) ファシリテーター体験報告会を開催	1月13日	筑紫野市二日市東コミセン	4人	8人	1,530
③-3 福岡県内公設NPO・ボランティアセンター等連絡会	11月22日	福岡県吉塚合同庁舎	1人	35人	700

活動計算書

2024年4月1日～2025年3月31日まで

(単位:円)

科目	金額	
I 経常収益		
1. 受取会費		40,000
2. 受取寄付金		1,000
3. 受取助成金等		66,000
4. 事業収益		1,825,960
3. その他収益		411
経常収益計		1,933,371
II 経常費用		
1. 事業費		
(1) 人件費		
臨時雇賃金	0	
人件費計	0	
(2) その他経費		
通信運搬費	16,670	
印刷製本費	10,974	
消耗品費	4,900	
旅費交通費	2,890	
諸謝金	176,000	
諸謝金・交通費(文化庁事業)	1,586,240	
支払手数料	3,058	
雑費	5,416	
会場費	3,830	
その他経費計	1,809,978	
事業費計		1,809,978
2. 管理費		
(1) 人件費		
人件費計	0	
(2) その他経費		
租税公課	450	
印刷製本費	1,468	
会議費	330	
消耗品費	2,311	
会場費	1,230	
通信運搬費	370	
その他経費計	6,159	
管理費計		6,159
経常費用計		1,816,137
当期正味財産増減額		117,234
前期繰越正味財産額		353,105
次期繰越正味財産額		470,339

受取会費
正会員 12 名
(1 名 2025 年度分)
サポーター会員 4 名
(4 名 2025 年度分)

文化庁事業 1,760,960 円
放課後ディーツむぎ 50,000 円
講演事業 15,000 円

財務諸表の注記

(単位:円)

科 目	演劇事業	哲学事業	地域事業	調査研究 講演事業	事業部門計	管理部門	合計
I 経常収益							
1. 受取会費					0	40,000	40,000
2. 受取寄付金					0	1,000	1,000
3. 受取助成金等			66,000		66,000		66,000
4. 事業収益	1,760,960	0	50,000	15,000	1,825,960		1,825,960
5. その他収益					0	411	411
経常収益計	1,760,960	0	116,000	15,000	1,891,960	41,411	1,933,371
II 経常費用							
(1) 人件費							
役員報酬					0		0
法定福利費					0		0
人件費計	0	0	0	0	0	0	0
(2) その他経費							
印刷製本費	6,170		4,804		10,974	1,468	12,442
消耗品費	4,900				4,900	2,311	7,211
通信運搬費	16,670				16,670	370	17,040
諸謝金			176,000		176,000		176,000
支払手数料	2,002		1,056		3,058		3,058
租税公課					0	450	450
会議費					0	330	330
会場費			2,300	1,530	3,830	1,230	5,060
雑費			5,416		5,416		5,416
旅費交通費	2,190			700	2,890		2,890
諸謝金・交通費	1,586,240				1,586,240		1,586,240
その他経費計	1,618,172	0	189,576	2,230	1,809,978	6,159	1,816,137
経常費用計	1,618,172	0	189,576	2,230	1,809,978	6,159	1,816,137
当期経常増減額	142,788	0	△ 73,576	12,770	81,982	35,252	117,234

財産目録

2025年3月31日現在

(単位:円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金			
手許現金	11,496		
〇〇銀行	292,854		
〇〇金庫	165,989		
流動資産合計		470,339	
2. 固定資産			
固定資産合計		0	
資産合計			470,339
II 負債の部			
1. 流動負債			

流動負債合計		0	
2. 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			0
正味財産			470,339

2025年度事業計画書

2025年 4月 1日から 2026年 3月 31日まで

NPO法人えんげき広場 cue

1 事業実施の方針と実施に関する事業

①演劇に関する事業

①-1) 文化庁の子供育成事業（芸術家の派遣事業5校・コミュニケーション能力向上事業4校）に採択された9校（小学校8校、高校1校）で、演劇の技法を使ったワークショップを行い、子どもたちのコミュニケーション能力や非認知スキルの向上に寄与する。ファシリテーター講座で養成したサブ講師9名と新人2名で、実践とふりかえりを行い一層のスキルアップを目指す。ワークショップのふりかえりでは、NPO法人アカツキが開発した「ふりかえり評価」を使う。また今年度の文化庁子供育成事業の申請は15校を目標とする。

事業内容	実施 予定日時	実施 予定場所	従事者の 予定人数	受益対象者の 範囲及び 予定人数	事業費の 予算額 (千円)
①-1) 文化庁の子供育成事業計9校で実施	5月 ～11月	筑紫野市4校、福岡市2校、うきは市1校、熊本県1校、大分県1校	53人	小学生675人 高校生52人 合計727人	1,832

②地域に居場所を作る事業

②-1) 筑紫野市文化会館の団体支援事業で一般市民対象に演劇ワークショップを開催する。

②-2) cueの自主財源で一般市民対象のワークショップを2回開催し、演劇の技法を用いたワークショップの良さを市民に知ってもらう機会とする。

②-3) サポーター会員への活動報告として定期的にメールマガジンを発行。活動への理解を図り増員を目指す。

②-4) 2回目となる「ふくおか貢献サポート事業」に申請し協議体を結成する。「医療とアートの協働で演劇ワークショップを開発・実施する事業」として、一般住民と医療者を対象に劇作家・脚本家岩井秀人の「ワレワレのモロモロ」演劇ワークショップ及びファシリテーター育成講座を行う。6月に採択結果がでる。

事業内容	実施 予定日時	実施 予定場所	従事者の 予定 人数	受益対象者の 範囲及び 予定人数	事業費の 予算額 (千円)
②-1) 筑紫野市文化会館共催事業で演劇ワークショップを開催	9月7日	筑紫野市文化会館	4人	一般市民 30人	2 (文化会館公的助 成金50)
②-2) 自主事業として演劇ワークショップを2回開催	7月6日 1月	筑紫野市内コミセン	6人	一般市民 40人	70
②-3) メールマガジンの発行	年4回発 行		1人	サポーター会員 4人	0
②-4) ふくおか貢献サポート事業で協議体を結成。医療とアートの協働で演劇	11月	筑紫野市内コミセン	5人	一般市民30人 医療者10人	5 (協議体へ公的受 取助成金50万 円)

ワークショップを一般市民と医療者に実施					
---------------------	--	--	--	--	--

③調査・研究及び講演を行う事業

③-1) 調査・研究の事業として、昨年から始めたファシリテーター報告会を行う。

③-2) 調査・研究の新規事業として「演劇ワークショップの教育的効果に関するアンケート」をワークショップ実施学校の教員に行い、ワークショップ後の子どもたちの変化から演劇ワークショップの教育効果を検証する。検証結果をファシリテーター報告会で報告する。

③-3) 講演を行う事業として、哲学対話（本質観取）のファシリテーター講座をオンラインで4回開催する。演劇に加えて哲学対話のファシリテーターを育成し、より主体的で対話的な力を育むことを目的とする。哲学対話（本質観取）は、道徳の教科書（光村図書 2025 年度小学校、2026 年度中学校）に掲載される。

③-4) 調査研究の事業として、昨年に引き続き「演劇を観て語る会」「研修旅行」を実施する。

事業内容	実施 予定日時	実施 予定場所	従事者の 予定人数	受益対象者 の範囲及び 予定人数	事業費の予算額 (千円)
③-1) ファシリテーター体験報告会を開催	2月	筑紫市内コミセン	4人	ファシリテーター10人	3
③-2) アンケート調査	5月～11月		3人	実施校の教員 30人程度	0
③-3) 哲学対話ファシリテーター育成講座オンライン開催	年間4回	オンライン	1人	正会員他10人 ×4回	80
③-4) 「演劇を観て語る会」「研修旅行」の開催	年間3回		3人	正会員・サポーター会員他 15人	0

2025 年度 活動予算書

科 目	2024年度 決算金額	2025年度 予算金額	予算内訳
I 経常収益			
1. 受取会費	40,000	43,000	正会員 11 人×3,000 円 サポーター会員 10 人× 1,000 円
2. 受取寄付金	1,000	0	
3. 受取助成金等	66,000	0	
4. 事業収益	1,825,960	2,017,199	文化庁の事業 9 校分
3. その他収益	411	0	
経常収益計	1,933,371	2,060,199	
II 経常費用			
1. 事業費			
(1) 人件費			
臨時雇賃金	0	0	
人件費計	0	0	
(2) その他経費			
通信運搬費	16,670	20,000	ホームページ計 16,670 円 内訳 ロリポップ 5,940 円 シンカブル 4,382 円 ムームードメイン 6,348 円
印刷製本費	10,974	12,000	
消耗品費	4,900	5,000	
旅費交通費	2,890	4,000	
諸謝金	176,000	120,000	哲学対話講師謝金 80,000 円 地域で WS 講師謝金 2 回分 60,000 円
諸謝金・交通費(文化庁事業)	1,586,240	1,831,559	文化庁の事業支払 9 校分
支払手数料	3,058	4,000	
雑費	5,416	8,000	地域で WS お菓子代他
会場費	3,830	5,000	地域で WS、報告会他
その他経費計	1,809,978	2,009,559	
事業費計	1,809,978	2,009,559	
2. 管理費			
(1) 人件費			
人件費計	0		
(2) その他経費			
租税公課	450	0	
印刷製本費	1,468	2,000	総会資料、理事会議事録な ど
会議費	330	330	
消耗品費	2,311	3,000	総会お菓子代
会場費	1,230	1,230	総会会場費
通信運搬費	370	500	郵送代ほか
その他経費計	6,159	7,060	
管理費計	6,159	7,060	
経常費用計	1,816,137	2,015,619	
当期正味財産増減額	117,234	43,580	
前期繰越正味財産額	353,105	470,339	
次期繰越正味財産額	470,339	513,919	